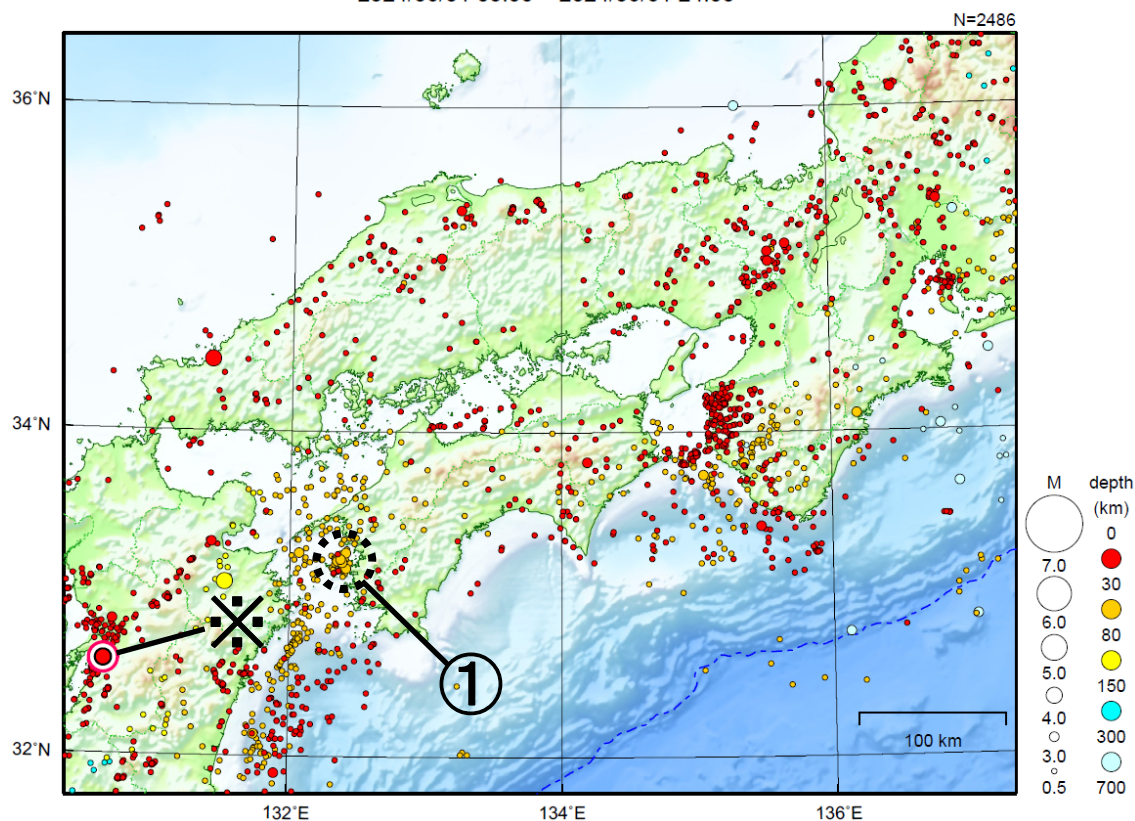


近畿・中国・四国地方

2024/05/01 00:00 ~ 2024/05/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 豊後水道では、5 月中に震度 1 以上を観測した地震が 13 回（震度 3：2 回、震度 2：1 回、震度 1：10 回）発生した。このうち最大規模の地震は、4 日及び 6 日に発生した M3.9 の地震（ともに最大震度 3）である。

※で示した地震については九州地方の資料を参照。

（上記期間外）

6 月 1 日に豊後水道で M4.5 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

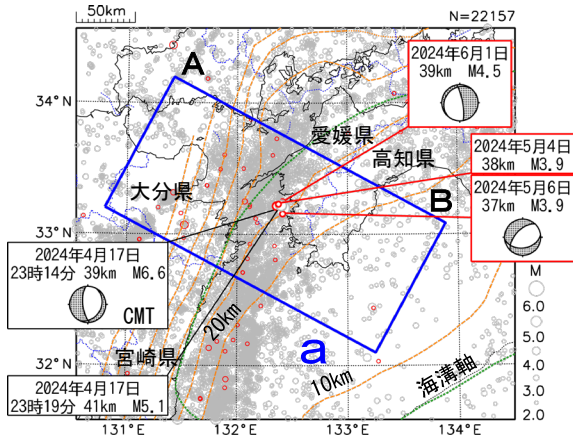
気象庁・文部科学省

4月17日からの豊後水道の地震活動

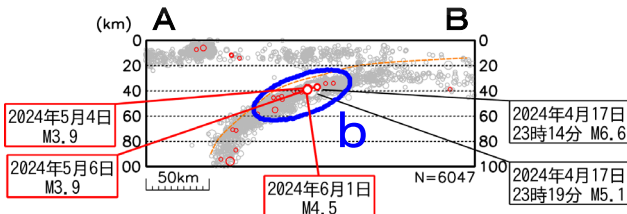
震央分布図

(1997年10月1日～2024年6月4日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2024年5月以降の地震を赤色で表示



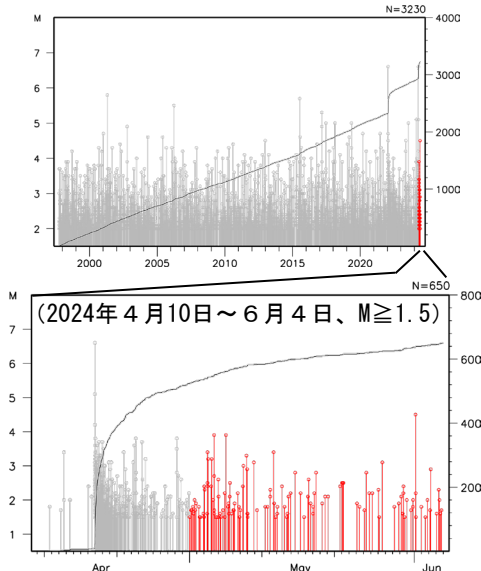
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



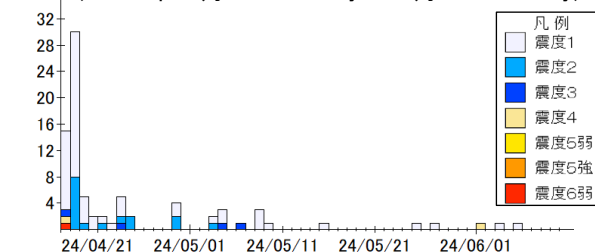
橙色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007) によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

緑色の破線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震度 1 以上の日別地震回数グラフ (2024年4月17日23時～6月10日09時)



豊後水道では、4月17日のM6.6の地震 (最大震度6弱) の発生後、地震活動が活発となり、4月17日23時から6月10日09時までに震度1以上を観測した地震は82回 (震度6弱: 1回、震度4: 2回、震度3: 4回、震度2: 16回、震度1: 59回) 発生した。このうち、5月中の最大規模の地震は、4日09時40分に豊後水道の深さ38kmで発生したM3.9の地震 (最大震度3) 及び6日00時50分に深さ37kmで発生したM3.9の地震 (最大震度3) である。また、6月1日04時02分には深さ39kmでM4.5の地震 (最大震度4) が発生した。これらの地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は、5月6日の地震は北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型で、6月1日の地震は東西方向に張力軸を持つ型である。地震回数は減少してきているものの、地震活動は継続している。

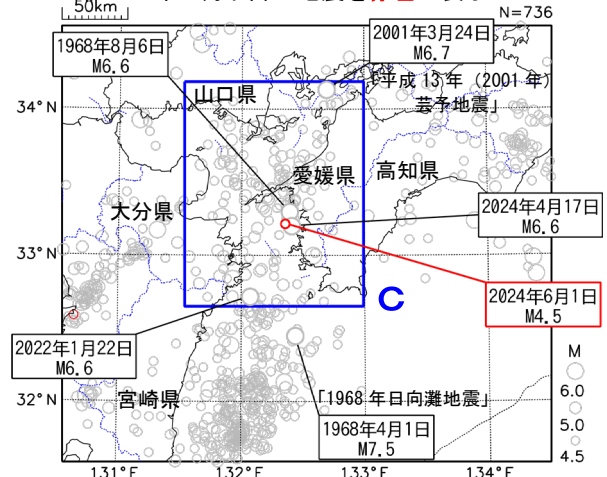
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生している。「平成13年 (2001年) 芸予地震」では、死者2人、負傷者288人、住家全壊70棟などの被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2024年6月4日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)

2024年5月以降の地震を赤色で表示



領域 c 内の M-T 図

